

「日本の名誉」と「戦争シュミレーション」

日本の教育を論ずれば、まず、学校等の教育現場で「民主主義」の教科の新設が必要と考えます。

言論での公開討論を行うことが出来る国民、その勇氣、そして、その様なことを、ごく自然に行える文化人を目指す教育を望むものです。

威圧と武力により物事を進める行為が、勇敢な行為とか、青少年の規律であるとか、規範的であるとか、その様な教育を正当化してもらいたくないものです。

その根底は、威圧、武力には絶対に屈しないと言う正義感です。

国民主権を基本とする選挙制度は、「**政党得票率＝政党議決権率**」であり、これが私の考える民主国家の基本です。国会議員選挙で、60%以上の政党議決権の死票が出る選挙もあり、これを正すのが真の、一票の格差是正による民主国家の確立と考えます。

各地方の代表の国会議員を選ぶ選挙（小選挙区制）で、私は人柄とか主張により選びますが、党議拘束で議決権を拘束されるのであれば、小選挙区制の意味はなく、全て比例代表とするのが、解りやすいです。

戦争により解決出来る時代は終わりました。その事実を認めることが出来ないのは時代錯誤でしかありません。世界を植民地支配するなど妄想にすぎません。

最近の報道で、日本が核兵器を保有しての戦争について、保有するかどうかは別にして、シュミレーションを行うことは良いのではという意見があり、私も同感ですので、以下に私的シュミレーションを行いました。ただし、私は日本の核保有には反対です。

シュミレーション（1）

核兵器を保有しない国（A国）と、核兵器を300基保有する国（B国）とが、戦争をした場合、A国の敗戦は自明のことです。

A国が30年後に核兵器を50基保有した場合で、正式に宣戦布告を行った戦争では、A国とB国のどちらの勝戦もなく、どちらも、核被災地となるのみです。ただし、先制攻撃をした場合でも、レーダー技術が進んでいるので、同じと思います。

核武装より核被害を少なくすることが重要であり、地対空ミサイル、空母よりの迎撃レーザー、人口衛星よりのレーザー爆破システム等が進んだ国の方が核被害は少なくなると思います。

シュミレーション（2）

核兵器を保有しなで、50基の原子力発電所がある国（C国）と、核兵器を保有しないで、原子力発電所も持たない国（D国）が、戦争をした場合、他の軍事力が同じの場合、D国が勝戦国となるかどうかは別にして、C国は核被災地となります。核ミサイルではなく、通常ミサイル攻撃、空爆でも核被災地には変わりありません。

日本は、今後、如何なる場合でも、核被災地とならない条件を整えるべきであると思います。

日本は防衛先進国を目指し、他国からの核兵器や軍事力の行使に対しても、特に、原子力発電所へのミサイル攻撃、テロ攻撃に対する防衛システムに於いて、先進技術を有することにより、日本が世界に誇る安全保障先進国となるべきでしょう。

シュミレーション（3）

コンピューターシュミレーションでの戦争ゲームの世界で、核兵器、核ミサイルで他国を威圧したい諸兄へ述べさせて頂くと、核ミサイルを持っていなくても、通常ミサイルで核施設を攻撃しても同じではないでしょうか。これらの無意味な思考は、ゲームの世界での話しですが。

核兵器の保有数の競争の時代も、1989年ごろに東西冷戦の終焉により終わりました。その復活を望むことこそ時代錯誤です。

核兵器とか軍事力により侵略されない国を作りたい、つまり、核兵器保有数を競争した1989年以前の冷戦時代に戻ると言う主張は歴史上の事実の再確認が必要です。

つまり、勝戦国がなく核被災地のみを作る世界は無意味であると世界の指導者が理解したからです。これは、コンピューターシュミレーション技術の進歩によるものですか、防衛省などは既にその結果を掌握しているかもしれませんが、国家秘密に属するかもしれません。日本のコンピューター技術から考えると、世界を10回以上滅亡させることが可能な核兵器に正当性を見つけることは出来ません。その次の時代へ進めてもらいたいものです。

日本の現状は、私が思うに、「多くの日本人が自分の職業に誇りを持ち、サービス業、農業、製造業などを淡々と真面目にこなしています。」「独立した個人として名誉と尊厳を持ち活動する人数が多い国が、先進国であると考え、現状の日本は先進国であると、私は誇りに思っています。」

しかし、日本は、民主主義についての議論が殆どなく残念です。特に、政党のマニフェストで、個人民主主義の尊重と拡大を唱えている政党がないことは非常に残念であり、政党の党首討論会でも、何が民主主義とか、更なる民主主義国家としての確立を目指すための議論も一切ありません。

夫婦間の暴力、家庭内暴力、学校のいじめと言った社会現象が増加したのは、意見を述べたり、議論を戦わせることが反抗的であると断定する教育現場があるとすれば、それが問題であり、それを正すのが本来の民主国家の教育現場と考えます。

日本の教育の盲点は、民主主義国家と言いながら、民主主義についての教育を行わないことが教育現場の問題点であり、先進国日本の課題と考えます。

(2012.12.13)